

## 新興国公社債オープン（通貨選択型） ブラジル・リアルコース（毎月決算型）

追加型投信／海外／債券

第110期末（2019年1月15日）	
基準価額	4,044円
純資産総額	3,356百万円
第105期～第110期	
騰落率 （上昇率・下落率）	+2.2%
分配金合計（*）	195円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

（\*）各期の分配金を合計したものです。

第105期（決算日：2018年8月14日）  
 第106期（決算日：2018年9月14日）  
 第107期（決算日：2018年10月15日）  
 第108期（決算日：2018年11月14日）  
 第109期（決算日：2018年12月14日）  
 第110期（決算日：2019年1月15日）

作成対象期間

（2018年7月18日～2019年1月15日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、米ドル建の新興国のソブリン債券と社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保と、債券の値上がり益の獲得、および円に対するブラジル・リアルの為替差益の獲得をめざして運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法>

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

**0120-151034**  
 お客さま専用  
 フリーダイヤル  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

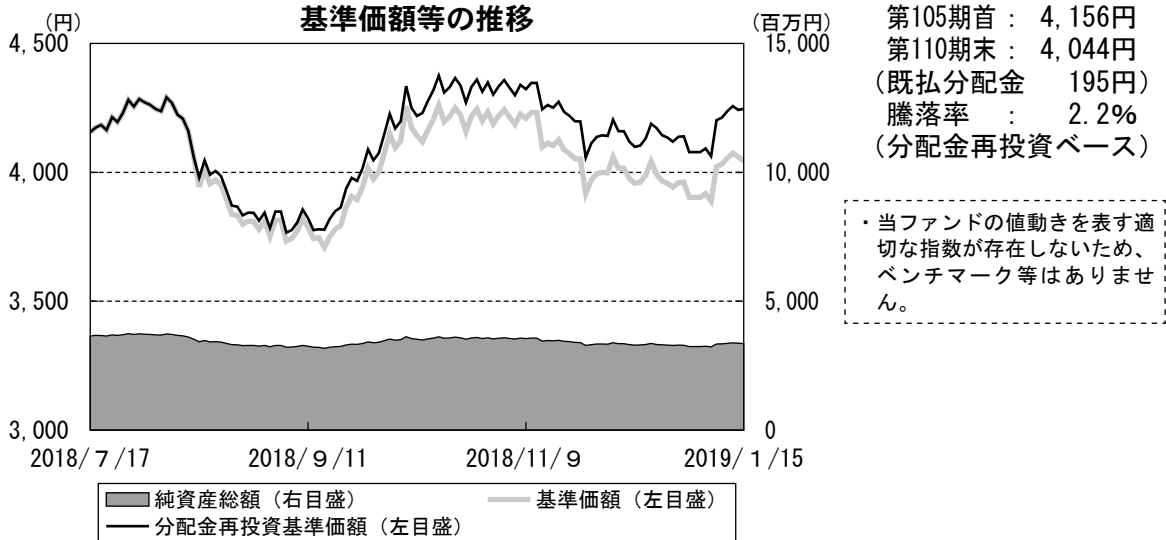
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第105期～第110期：2018/7/18～2019/1/15）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の主な変動要因

上昇要因

米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得や、新興国債券市況が上昇したこと、ブラジル・リアルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

（2018年7月18日～2019年1月15日）

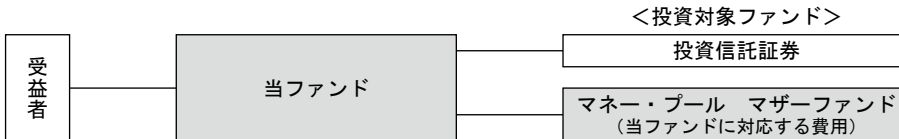
**i** 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	第105期～第110期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	21円	0.526%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(9)	(0.215)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(12)	(0.295)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	21	0.528	
作成期中の平均基準価額は、4,040円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

### 【費用開示の仕組み】

下記  部分の費用が費用明細に含まれています。



**!** 当ファンドの費用に関する情報を後記「<ご参考>当ファンドに関わる費用について」に記載していますので、ご確認ください。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

（2014年1月14日～2019年1月15日）



・分配金再投資基準価額は、2014年1月14日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2014/1/14 期初	2015/1/14 決算日	2016/1/14 決算日	2017/1/16 決算日	2018/1/15 決算日	2019/1/15 決算日
基準価額 (円)	7,002	6,891	4,223	5,315	5,272	4,044
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,200	870	780	645	405
分配金再投資基準価額騰落率	—	16.3%	-27.9%	48.1%	11.9%	-15.6%
純資産総額 (百万円)	23,318	13,519	5,964	6,080	5,153	3,356

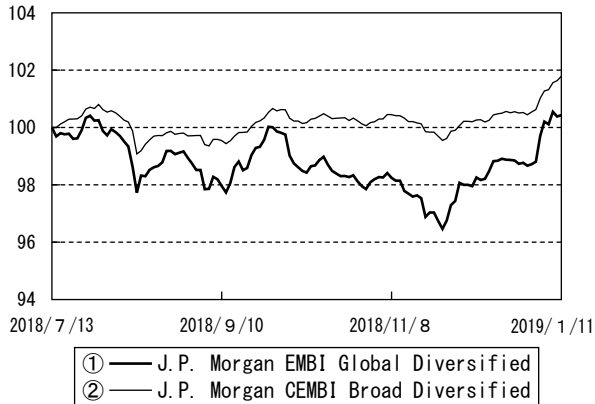
・ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## 投資環境について

（第105期～第110期：2018/7/18～2019/1/15）

### 新興国債券市況の推移 （当作成期首を100として指数化）



#### ◎新興国債券市況

- ・新興国債券市場は、当作成期首に比べ、新興国ソブリン債券市場、新興国社債市場ともに上昇しました。
- ・米中貿易摩擦の激化懸念や軟調な米国株式市場などを背景に、米国長期金利が低下したことを受け、新興国債券市場は上昇しました。

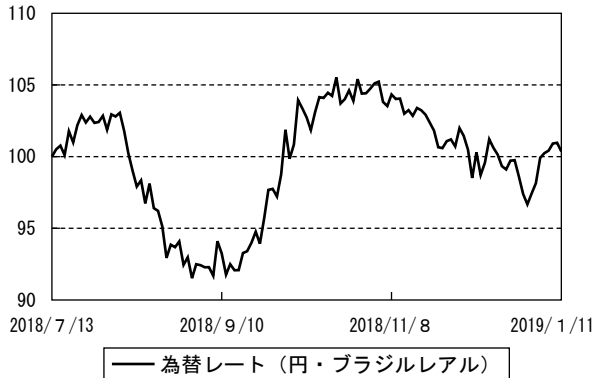
（注）現地日付ベースで記載しております。

（注）①は新興国ソブリン債券の市況を、②は新興国社債の市況を表しています。

（注）J.P. Morgan EMBI Global Diversifiedはエマージング・カントリーの国債を中心とした債券の投資総合収益を指数化したものです。J.P. Morgan CEMBI Broad Diversifiedはエマージング・カントリーの社債を中心とした債券の投資総合収益を指数化したものです。

情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

**為替市況の推移**  
 （当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

- ・ブラジル・リアルは、大統領選挙にて市場寄りとされるボルソナロ氏が当選したことなどを背景に、対円で上昇しました。

（注）現地日付ベースで記載しております。

◎国内短期金融市場

＜無担保コール翌日物金利の推移＞

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.06%程度で推移しました。

＜国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移＞

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。当作成期首から2018年9月にかけてはマイナス0.15%程度で推移していたものの、10月に短期国債の需給引き締めなどからマイナス0.33%程度まで低下しました。その後金利は上下を繰り返し、足下はマイナス0.17%程度で推移しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### <新興国公社債オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（毎月決算型）>

- ・ 当作成期を通じて、円建の外国投資信託であるエマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ボンド・ファンド（BRLクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。
- ・ 当作成期末において、エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ボンド・ファンド（BRLクラス）を98.5%、マネー・プール マザーファンドを0.2%組み入れました。
- ・ その結果、基準価額（分配金再投資ベース）は当作成期首に比べ、上昇しました。

### <エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ボンド・ファンド（BRLクラス）>

- ・ 主として米ドル建の新興国のソブリン債券および社債に投資を行いました。
- ・ ポートフォリオの構築にあたっては徹底したボトムアップ・アプローチによるソブリン債券の投資国選択および社債の銘柄選択を行いました。
- ・ ソブリン債券と社債の比較では、社債により投資妙味があると考えており、社債の組入比率を基本投資比率である30%と比べて高めとしました。
- ・ ソブリン債券の運用においては、流動性が高くバリュエーション面などから魅力度が高いと考えられる国に積極的に投資を行いました。アルゼンチンなどのソブリン債券の組み入れを高位としました。
- ・ 社債の運用においては、ファンダメンタルズ分析と相対価値判断による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、幅広い銘柄に分散投資を行いました。セクター別では、石油・ガスセクターや金融セクターをはじめ、新興国の国内における経済活動の活性化の恩恵を受けると考えられる、情報・通信セクターにも投資を行いました。
- ・ 実質的に保有している米ドル建資産に対し米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。
- ・ その結果、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引によるプレミアムの獲得や、新興国債券市況が上昇したこと、ブラジル・レアルが対円で上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

### <マネー・プール マザーファンド>

- ・ わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は当作成期首と比べて下落となりました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第105期	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
	2018年7月18日～ 2018年8月14日	2018年8月15日～ 2018年9月14日	2018年9月15日～ 2018年10月15日	2018年10月16日～ 2018年11月14日	2018年11月15日～ 2018年12月14日	2018年12月15日～ 2019年1月15日
当期分配金	35	35	35	35	35	20
（対基準価額比率）	0.880%	0.935%	0.843%	0.847%	0.869%	0.492%
当期の収益	31	26	31	26	27	20
当期の収益以外	3	8	4	8	7	—
翌期繰越分配対象額	167	159	155	146	139	145

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ＜新興国公社債オープン（通貨選択型）ブラジル・レアルコース（毎月決算型）＞

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、円建の外国投資信託であるエマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ボンド・ファンド（BRLクラス）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

### ＜エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ボンド・ファンド（BRLクラス）＞

#### ◎運用環境の見通し

- ・新興国債券市場については、財政規律の強化や健全な経常収支、成長期待の高まりや構造改革などを背景にファンダメンタルズは改善傾向にあるとみています。ただし足下では、米国の貿易政策の動向などに注意が必要です。

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、主として米ドル建の新興国のソブリン債券および社債に投資を行うとともに、実質的に保有している米ドル建資産に対して原則として米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。
- ・新興国債券市場のボラティリティが高まる中、国の選別がこれまで以上に重要となっていると考えております。具体的には、独自の改革を推進している国が魅力的な投資機会を提供していると考えており、スプレッド（利回り格差）縮小や信用力向上が見込まれる国に注目しています。また、フロンティア市場についてはファンダメンタルズが良好かつ、流動性が高い国を中心に投資を行う方針です。
- ・社債については、ファンダメンタルズ分析と相対価値判断による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき組入銘柄の選別を行います。また、主要なベンチマークに採用されていないニッチな銘柄に対しても、銘柄の流動性に十分に注意しながら積極的に投資を行う方針です。
- ・ソブリン債券と社債の観点では、社債により投資妙味があると考えており、社債の組入比率を基本投資比率である30%と比較して高位を維持する方針です。

### ＜マネー・プール マザーファンド＞

#### ◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

#### ◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

## お知らせ

**i** 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・該当事項はありません。

◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

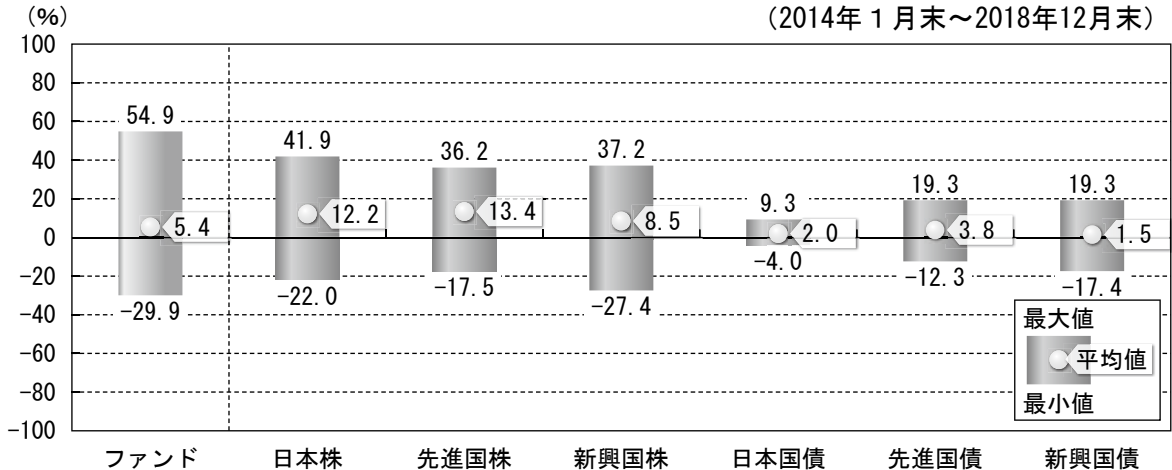
\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2019年9月26日まで（2009年9月29日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ボンド・ファンド（BR Lクラス）受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ボンド・ファンド（BR Lクラス）	主に米ドル建の新興国の政府および政府機関等の発行するソブリン債券、および新興国の企業が発行する社債
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として米ドル建（現地通貨建の債券にも投資を行う場合があります、これらについて現地通貨売り／米ドル買いの為替取引を行ったものも含まれます。）の新興国のソブリン債券と社債（CoCosを含みます。）に投資を行います。</li> <li>・安定したインカムゲインの確保と、債券の値上がり益および為替差益の獲得を目指します。</li> <li>・実質的な米ドル建資産に対して、原則として米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。</li> </ul>	
分配方針	毎月14日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**i** 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2014年1月から2018年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### ○各資産クラスの指数

- 日本株：TOPIX（配当込み）
- 先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
- 新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
- 日本国債：NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）
- 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

（2019年1月15日現在）

#### 組入ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名		第110期末 2019年1月15日
<input checked="" type="checkbox"/>	エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ ボンド・ファンド（BRLクラス）	98.5%
	マネー・プール マザーファンド	0.2%

・比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

上記  の組入ファンドについて、後掲「組入上位ファンドの概要」の期間が当ファンドの期間と異なる点にご留意ください。

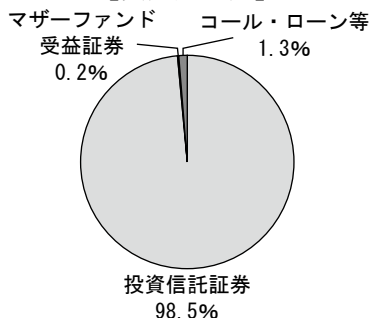
#### 純資産等

項目	第105期末 2018年8月14日	第106期末 2018年9月14日	第107期末 2018年10月15日	第108期末 2018年11月14日	第109期末 2018年12月14日	第110期末 2019年1月15日
純資産総額	3,427,601,846円	3,174,615,968円	3,494,628,779円	3,453,823,846円	3,325,159,449円	3,356,276,850円
受益権口数	8,691,092,317口	8,559,001,763口	8,483,415,912口	8,428,999,083口	8,327,103,208口	8,300,305,972口
1万口当たり基準価額	3,944円	3,709円	4,119円	4,098円	3,993円	4,044円

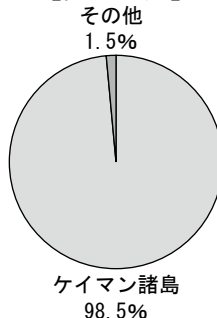
・当作成期間中（第105期～第110期）において  
追加設定元本は96,988,201円  
同解約元本は580,670,296円です。

#### 種別構成等

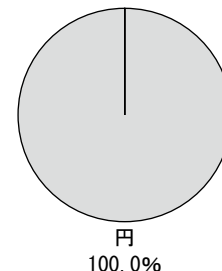
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。  
・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

## 組入上位ファンドの概要

### エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ ボンド・ファンド（BRLクラス）

（現地2018年3月31日現在）

#### 基準価額の推移



基準価額以外の開示情報につきましては、各通貨毎のクラス分けされたものがないため、「エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ボンド・ファンド全体」ベースで表示しています。

・上記には、分配金が含まれていません。

### エマージング・ソブリン・アンド・ コーポレート・ボンド・ファンド全体

#### 組入上位10銘柄

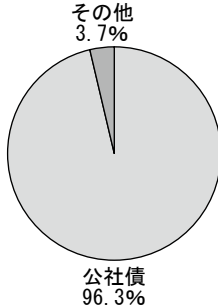
（組入銘柄数：132銘柄）

	銘柄	クーポン	償還日	比率
1	アルゼンチン国債	7.5%	2026/04/22	4.0%
2	セルビア国債	7.25%	2021/09/28	3.4%
3	ベトロラス	8.75%	2026/05/23	2.2%
4	ガーナ国債	9.25%	2022/09/15	2.0%
5	ベトナム国債	4.8%	2024/11/19	1.8%
6	エジプト国債	7.5%	2027/01/31	1.8%
7	ウクライナ国債	7.75%	2020/09/01	1.8%
8	ブラジル国債	6%	2026/04/07	1.8%
9	南アフリカ国債	5.875%	2025/09/16	1.7%
10	チリ国立銀行	3.875%	2022/02/08	1.6%

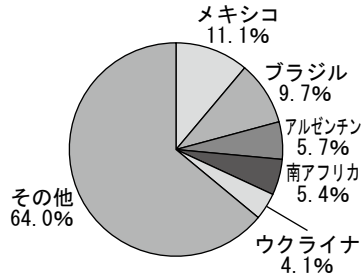
- ・比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・組入銘柄数は短期金融商品を除いた実質的な債券部分を表示しています。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等

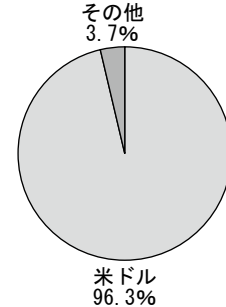
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率は上位5項目を表示しています。
- ・エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ボンド・ファンド（BR Lクラス）において、保有資産（米ドル建資産以外は実質的に米ドル建となるように為替取引を行います）に対し米ドル売り・ブラジルリアル買いの為替取引を行っており、実質的な通貨はおおむねブラジルリアルとなっています。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ボンド・ファンドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものであり、運用報告書（全体版）とは異なる場合があります。

## 1万口当たりの費用明細

（現地2017年4月1日～2018年3月31日）

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示はできません。

### 「参考情報」

費用項目	比率
信託（管理）報酬	0.63%
その他	0.31%
費用合計	0.94%

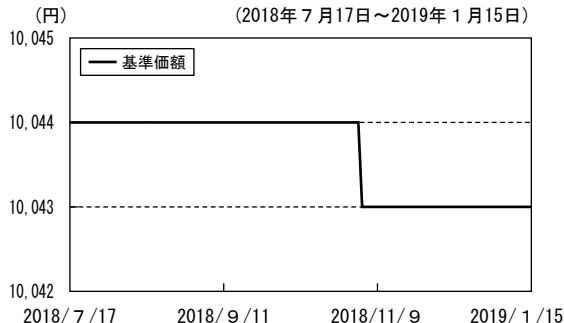
- ・上記は、Financial Statementsに掲載されている費用明細を三菱UFJ国際投信が「信託（管理）報酬」と「その他」に分類して表示したものです。
- ・比率は、上記分類による費用金額の合計を期中の平均純資産総額で除した参考値です。

## 組入上位ファンドの概要

### マネー・プール マザーファンド

（2019年1月15日現在）

#### 基準価額の推移



#### 組入上位10銘柄

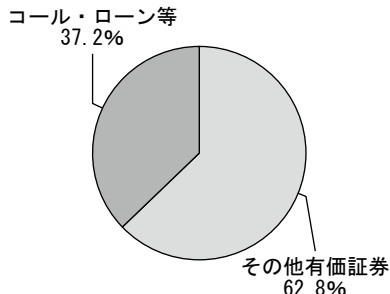
（組入銘柄数：1銘柄）

	銘柄	種類	国	業種／種別	比率
1	グンゼ 190116	その他有価証券	日本	コマース／ペーパー	62.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

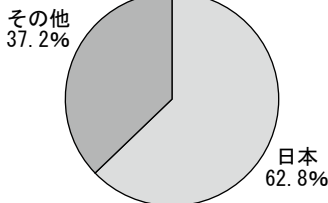
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、その他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

#### 種別構成等

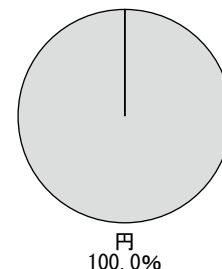
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

#### 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	0円	0.000%
（その他）	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,043円です。

（2018年7月18日～2019年1月15日）

- （注）1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。
- （注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- （注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

154024



### ＜ご参考＞当ファンドに関わる費用について

ファンド名称（当ファンド）	対象期間	費用合計 （年率）
新興国公社債オープン（通貨選択型） ブラジル・リアルコース（毎月決算型）	2018年7月18日 ～2019年1月15日	1.06%

ファンド名称（組入上位ファンド）	対象期間	費用合計 （年率）
エマージング・ソブリン・アンド・コーポレート・ ボンド・ファンド（BRLクラス）	2017年4月1日 ～2018年3月31日	0.94%

（注）当ファンドの費用合計（年率）は、当ファンドの「1万口当たりの費用明細」に記載された合計の比率を年率換算したものであり、実際に年間で発生した費用ではありません。

（注）組入上位ファンドの費用合計（年率）は、「組入上位ファンドの概要」の「1万口当たりの費用明細」に掲載されている参考情報にある各費用項目の合計の比率であり、当ファンドの対象期間とは異なる場合があります。また、対象期間が1年超・未満の場合には年率換算して表示しています。

（注）組入上位ファンドの開示データが無い場合、費用合計（年率）はマスターファンドにおける比率を掲載しています。

## 指数に関して

### ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

#### FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信